

おいしく食べて、豊かな未来へ 持続可能な社会を目指す4つのプロジェクト



生きものにやさしいお米づくりで、佐渡をトキのふるさとに
佐渡トキ応援お米プロジェクト



プロジェクトの仕組み

① 産直 新潟佐渡コシヒカリ関連商品をお買い求めください。

② 売り上げの一部が「佐渡市トキ環境整備基金」へ寄付されます。

1kgにつき1円
産直 新潟佐渡コシヒカリ
※5kgと2kgの規格があり、それぞれ無洗米もあります

1点につき1円
産直 新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり

3パックにつき1円
産直 新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん

③ 「環境にやさしい佐渡米づくり」や「生きものをはぐくむ環境づくり」に役立てられます。



あぜ道もトキの餌場。除草剤を使わず草刈りをします

もう一度、日本の空にトキを羽ばたかせたい！

さまざまな生きものと共生できるお米づくりを支えるために

トキは江戸時代までよく姿が見られた鳥でした。しかし乱獲や餌場の田畑が減ったため、1981年に野生のトキは日本の空から消えてしまいました。最後の生息地となったのが、新潟県佐渡市。市ではトキをもう一度日本の空に羽ばたかせようと、中国からつがいを迎え入れ、数を増やすとともに、トキがすみ続けられる環境づくりを進めてきました。



ドジョウやカエルといった、さまざまな生きものが暮らす田んぼは、トキにとって大事な餌場。お米の生産者は除草剤などを減らしたり、冬の間も田んぼに水を張ったりして、生きものと共生できる農業に取り組んできました。

しかし、こうした農業は手間や維持費がかかります。コープはこれらの取り組みを応援するため、佐渡市・JA佐渡などとともに2010年にプロジェクトを立ち上げました。佐渡のお米を食べることで、生きものと共生する農業を支えます。

Message

プロジェクトのおかげで、自然下のトキは400羽を超えました。これは佐渡の生産者だけでなく、組合員の皆さんの成果です。田んぼはお米をつくるだけでなく、自然環境を整え、地域の風景を彩る重要な場所。これからもご飯を食べて、トキをはじめ日本の持続可能な環境づくりを応援してください。



佐渡農業協同組合 (JA佐渡) の生産者 齋藤 真一郎さん

生産者の齋藤さんからお話を伺い、トキを守るための努力や郷土愛が強く伝わってきました。農業に頼らないお米づくりには大変な苦労があり、私たちも食べることで応援しなければと思いました。

佐渡での産地視察・交流に参加した組合員の方



4つのプロジェクトの始まり

野菜、肉、魚、米：コープはさまざまな産地から、組合員の皆さんに商品をお届けしています。またユニセフには約40年支援を続けてきました。長きにわたる産地・ユニセフとの交流の中で、産地やユニセフがさまざまな課題に直面していることが分かりました。これからは、商品を安定的にお届けし、また世界の子どもたちが健やかに安心して暮らしていくために、商品を買って食べることで支援ができないだろうか。そんな想いから始まったのが、4つのプロジェクトです。



お買い物するとき、「おいしい」「安い」といった視点だけでなく、豊かな田んぼや海、世界の子どもたちの笑顔を感じたいと思いませんか？
コープの4つのプロジェクトは、商品を買って食べることで、持続可能な社会につながる取り組みです。



伊平屋島がこの先もずっと、美しい島でありますように
美ら島応援もずくプロジェクト



プロジェクトの仕組み

① 伊平屋島産のもずくをお買い求めください。

② 商品お買い上げ1点につき1円が、「伊平屋村美ら島応援基金」へ寄付されます。

宅配
 産直 沖縄県 伊平屋島産 味付太もずく(土佐酢)



お店
 沖縄県伊平屋島産 味付もずく 土佐酢
 沖縄県伊平屋島産 味付もずく 米黒酢入り



③ 伊平屋島の美しい自然環境を保護する活動などに役立てられます。



毎年職員が島を訪問し、海岸清掃に参加しています

脅かされるウミガメのふるさと

どこまでも続く透き通った海と、真っ白な砂浜。沖縄県の最北端にある伊平屋島は、「沖縄の原風景」と言われるほど豊かな自然が残り、絶滅が心配されるウミガメの数少ない産卵場所です。島では特産のもずくを養殖して経済や暮らしを支え、リゾート開発などをする事なく、美しい環境を守り続けてきました。

しかし、その伊平屋島の砂浜に海から大量のごみが流れ着き、問題になっています。ごみがあるとウミガメは砂浜に上陸できず、産卵できません。島をあげて海岸清掃を行っていますが、島にはごみ処理施設がないため、沖縄本島までごみを船で運ばなければならず、その費用が島の大きな負担になっています。

もずくを食べることで伊平屋島の自然を守る

コープは1987年から伊平屋島ともずくの取引をしており、長きにわたる交流の中でこうした現状を知りました。「伊平屋島の自然を守りたい」と2010年に始めたのが、「美ら島応援もずくプロジェクト」です。伊平屋島のもずく商品の買い上げ1点につき1円を村に寄付。寄付金はごみの運搬・処理や砂地の浄化など自然環境保護活動に活用され、島の美しい自然を守っています。



海が透明で、太陽の光がさんさんと降り注ぐ環境だからこそ、おいしいもずくが育ちます

Message

皆さまからのご支援で伊平屋の海岸がきれいになり、また伊平屋島の名前、もずくのことを知ってもらえ、大変うれしく思います。この取り組みの輪が年を重ね大きな輪となり、生産者の意欲向上につながっています。今後も品質の良いもずくを皆さんに提供できるよう、島の環境保全や後継者の育成にも取り組んでいきたいと思ひます。



伊平屋村漁協理事 新里斉士さん

もずくを買うことで、美ら島の保護プロジェクトに参加できると初めて知りました。美しい伊平屋島を守る一助になりたいので、購入しようと思ひます。



コープみらい 宅配をご利用の組合員さんより

4つのプロジェクトと「つながり」

4つのプロジェクトのうち、新潟佐渡コシヒカリ、沖縄県伊平屋島産もずく、お米育ち豚は、コープの産直商品です。「産直」は、「生産者の顔が見える商品を安心して食べたい」組合員の皆さんと、「安全な商品を直接届けたい」生産者の願いを実現する取り組み。コープは生産者と組合員の皆さん、つくる人と食べる人を「つなげて」きました。またユニセフとも長年の協力関係があり、生産者やユニセフとつながりのあるコープだからこそ、4つのプロジェクトに取り組むことができたのです。これからも、人と人とのつながりを大切に、プロジェクトを進めていきます。



佐渡トキ応援お米プロジェクトでの産地視察・交流では、田植えや稲刈りなどに職員や組合員の皆さんが参加し、生産者と交流しています